

カスベ岳(1049.2m)

平成25年3月16日 参加人数6名

CL 安藤 SL 藤木 長沼、佐藤、沢田、渡邊

山行行程 5:30 伊達道の駅 7:30~7:45 利別目名川林道ゲート 9:40 名水橋林道終点 12:00~12:35 南尾根頭
13:30~13:40 カスベ岳(1000m 付近) 14:10~15:00 南尾根頭 15:40 名水橋林道終点
17:35 利別目名川林道ゲート 20:30 伊達道の駅

道南の山のメップ岳?山スキーで?1200m 足らず?楽勝と思い申し込んでみたが計画書を見たら人数が6名「えっ、これって、私は大丈夫なの」今まで、地図はA4一枚に収まっていたのに今回は二枚、かなり遠い山?ということを感じながら伊達道の駅を出発。高速道路を走っていると雨が降り出して来た。結構、強い雨「中止になれば」と心の隅のどこかで、でも、駐車スペースのあるゲートに着くころには雨がやみ、これは神様が「挑戦しなさい」と言っていると気を取り直して登山準備する。



長〜い林道

ゲートをまずは出発。15分ほど歩いて佐藤さんによるユニークな体操とビーコンチェック。長い林道の始まりだ。遠くの景色は霧がかかったようによく見えない。ようやく、2時間かけて林道歩きが終わった。少し休憩を取り、尾根に取り付く。ラッセルではないが先頭を交代しつつ新雪の尾根を登る、意外と重たい雪だ。600m 付近で11時、まだ先は遠い。やっとの思いで830mの南尾根の頭に到着。もう、12時になっていた。ここで行くのか行かないのか、メップ岳は時間的に、無理、それでは、カスベ岳はどうか、話し合い(リーダ)の結果、CLは残り、後のメンバーは30分をめどにカスベ岳に登ることに。まず、ツェルトを張り休憩場所を確保。(帰りのことを考えて)



狭い尾根筋を

尾根上は狭く雪庇が発達していてスキーで行けないと判断しスキー靴にアイゼンを装着。始めは雪庇を確認しながら尾根を無事通過、天気も良くなり、最後の急斜面、凍った雪面をけりながら登り慎重に雪庇を越えて1000m 平らな尾根に頂上はそこに見える。残念ながら時間切れ、振り返ればメップ岳の山頂や尾根に張ったツェルト、今金の平野迄が見え、空は青空が広がっていた。



南尾根の頭

素晴らしい景色を写真に残しすぐ下山、急斜面では滑落しないように雪庇では来た道を確認しながら。ツェルトに到着、中では野菜がいっぱい入っている暖かいラーメンの鍋が(うれしい、安藤さんのおかげです)。みんなで残すことなく平らげました。アイゼンをスキーに変え下山、細尾根に重たい新雪、転びながらも楽しい滑降、これがあるからスキーはやめられない。最後は木が密集していて斜滑降と横滑りの連続、私はこれが意外と好きだ。あっという間に林道に着く。林道でシールを付け下る。下るというよりも登ったり下がったり、朝と同じくらい時間がかかった。



1000m から望む

行きは良いよ帰りは怖い、そのとおりだ。長〜い林道では、いろいろあったけれど(それぞれに聞いてください面白いから)無事ゲートに到着。帰り道、今金のお風呂で疲れを取り、安藤さんと別れ帰路に。楽しい一日でした。リーダの方々、いろいろありがとうございました。

(写真提供 沢田 長沼)
記録 渡邊